



あくしゅ

第 83 便

～理事長より立春のご挨拶申し上げます～



2021年10月1日より

病院60床全床が地域包括ケア病床になりました。

令和四年 立春大吉

しばらく本広報誌『あくしゅ』の発行が途絶えておりましたが、立春を迎え、心機一転ごあいさつ申し上げます。先月は、新年を迎えた途端、新型コロナウイルス変異株の急増があり、その対策等であつという間に過ぎ去ったように感じております。いつどこで誰が感染してもおかしくない状況ですが、当法人では職員一人ひとりの日々の対策により、クラスター発生など一大事に及ぶことなくなんとか難を免れております。感染急増が落ち着くまでまだ時間を要しますが、「波」であるため、必ずこの状態から脱することはできると信じております。あともう少しの辛抱をなんとか乗り切ってまいりましょう。当法人は後方支援という形で新型コロナウイルス感染症への対応はしておりますが、最前線に対応に当たっておられる医療機関のみなさま、また新たな施策を作り上げ対応されておられる行政のみなさまにも深く感謝申し上げます。いつも本当にありがとうございます。

さて、当法人内のここ最近の出来事をダイジェストでご報告申し上げます。

現在、当法人は、「一致協力！在宅復帰実現社会を創造する」のスローガンの下、運営を進めております。回復期機能をより充実するため、10月1日から病院60床全床を地域包括ケア病床へ転換しました。従来より、多くの方々の入退院支援を行うことで、在宅復帰を目指す方々の協力をさせていただくことが可能となりました。その背景で大切になるのが「協働・連携」であり、職員一人ひとりの自己理解や他者理解を進める教育ツールである「MBTI研修」や急変した方に、チームとして即座に対応できるよう「ICLSコース」を院内で開催し、受講生や指導者を輩出することができております。これらのさらに根幹にある当法人の存在意義である「理念」に関し、職員のみならず当法人に関わってくださるみなさまへよりわかりやすくお伝えするため、「理念動画」を作成し、まずは身内への周知でしたが、こちらの広報でのお知らせをさせていただきます。ご笑覧頂ければ幸いです。

<https://youtu.be/fEZcSFlwQw>

裏面へつづく

またこれからの大きな動きとしては本年4月～5月に心臓リハビリテーションの開設を予定しています。我が国は、今後世界でも類をみない超高齢化社会に突入していきませんが、それに伴い高齢心不全患者が急増し、医療費も高騰し、いわゆる心不全パンデミックへの備えが必要であると言われていています。心不全に対しては、急性期から亜急性期→維持期→慢性期にかけて継続的なリハビリテーション介入が重要とされています。

そのような背景の中、現在、山口大学第二内科教授矢野雅文先生よりお声かけいただき、当院へ循環器常勤医派遣医として本年1月から立石裕樹先生に入職いただきました。立石先生は、今まで、山口大学医学附属病院で心臓リハビリテーションの実践・研究を担っておられましたが、そこで培った知識・技術を山口市でも広めていただけることとなりました。まだ準備段階ではありますが、スタッフ一同、在宅復帰ができる方々が一人でも増えるよう、全力で取り組んで参ります。予測不能な課題が多々ある世の中ではありますが、解決可能なことを優先し、令和四年も一歩ずつ歩んでまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年2月4日
理事長・院長 柴田大明



ながらくあくしゅを発刊できておりませんでした。その間、柴田病院ではたくさんのおこっけていまして、皆さまにお知らせをしたい気持ちはあったのですが、あつという間に1日、1週間、1か月が過ぎてしまっていました。これから1つ1つお知らせをしていきたいと思っております。今年もよろしくお願ひ致します<(_)>
地域連携室一同

<基本理念>

私たちは利用者の人間性を尊重し、
保健と医療と福祉の研鑽につとめ、
地域社会に貢献します。

柴田病院 〒753-0221 山口大内矢田北五丁目11番21号

☎ 代表番号 083-927-2800

☎ 地域連携室 083-927-1847

介護老人保健施設アークス 〒753-0221 山口市大内矢田北五丁目10番1号

☎ 代表番号 083-927-8363

居宅介護支援事業所アークス 〒753-0221 山口市大内矢田北五丁目11番1号

☎ 代表番号 083-941-2001

訪問看護ステーションアクティブ大内 〒753-0221 山口市大内矢田北五丁目11番1号

☎ 代表番号 083-927-8358